

ゆうりん



第 174 号

尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 06 - 6481 - 7733 FAX 06 - 6481 - 7343

平成 25 年 2 月 1 日発行

Email amavc@dream.ocn.ne.jp

URL <http://www.amasyakyo.jp/vc-blog/blog.cgi>

第2回

個人ボランティアの集い

のお知らせ

昨年9月15日(土)に第1回を開催した「個人ボランティアの集い」ですが、第2回目を開催することとなりました。

前回参加された方はもちろんのこと、前回参加できなかった方もぜひご参加ください!!日頃、活動の中で感じていることなど、みんなで共有してみませんか?新たな発見につながるかもしれませんよ。グループメンバーの方も、個人での参加OKです!皆さんのご参加お待ちしております。

《日 時》 平成25年3月9日(土) 13:30~15:30

《場 所》 尼崎市社協会館 1階ホール (尼崎市東大物町1-1-2)

《申込み・問合せ先》 ボランティアセンターまで
電話: 06-6481-7733 / FAX: 06-6481-7343

当日、更新手続きも出来ます!(下記①②を持参ください)

※できる限り、申し込みをしてからのご参加をお願いします。

新年度(平成25年度) ボランティア登録更新について

新年度(※平成25年度)に向けて、登録ボランティアの皆さんへ、①ボランティア登録更新カード ②ボランティア活動保険加入申込用紙(4枚複写)を

2月下旬頃に送付する予定です。書類が届き次第、なるべくお早めに更新手続きをお願いします。

なお、「期間内に更新手続きができない」、また「初めての更新でどうしてもわからない」などの質問は、ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。(TEL:06-6481-7733)

※平成25年度とは、平成25年4月1日~平成26年3月31日までの1年間です。

登録更新
手続き期間 ▶ 平成25年3月29日(金)まで

尼崎医療センター北側にある「北部在宅福祉センター」では、更新の手続きや申請等はできませんので、ご注意ください!



25年 ボランティア手帳 25年度 登録カード(シール) について

平成25年「ボランティア手帳」を昨年12月よりお配りしています。必要な方は、ボランティアセンターまたは各社協支部までお申し出ください。

平成25年度「登録カード(シールタイプ)」につきましては、更新手続きの際にお渡しする予定です。(更新手続きにつきましては、1ページをご覧ください。)



はぁ〜とふるふぁんど

「ボランティアあしすと」地域ボランティア・福祉支援

はぁ〜とふるふぁんど(神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合)が、福祉ボランティア団体や地域振興活動をしている民間団体・NPOなど、県内のボランティア活動を支援します。

- 【対象団体】・兵庫県内を主たる活動の場とし、5人以上のグループで活動している地域の団体またはボランティア団体。(法人化の有無は不問)
- ・支給された支援金の管理および事業を遂行できる団体。

【事業実施時間】平成25年7月1日～平成26年6月30日までに終了する事業
(多年度にわたる事業でも良いが、支援対象は上記期間のみ)

【助成金額】1事業について総事業費の4分の3以内で、最高100万円

【申し込み方法】指定申込用紙にて、郵送または持参(申込用紙はボランティアセンターにあります)

【申込締切日】平成25年3月8日(金)必着

【問い合わせ】はぁ〜とふるふぁんど事務局 TEL:078-362-8505

施設で寄り添うボランティア講座

講座の様子

平成24年11月1日～12月20日 計10回
尼崎あすなろ福祉会 地域生活支援センターポルタにて

体験や実習を通じて、心の病気についての理解を含め、寄り添う大切さを学ぶ講座です。



実習は、陶芸教室・音楽クラブ・料理作り等に参加し、利用者の方に寄り添いながらサポートしていきます。

クリスマス会では、利用者も受講生も全員が変装をして参加。昨年の受講生も参加して、紙芝居を披露するなど、人数が少ない分アットホームな感じの講座となりました。

グループの紹介や、メンバー募集を希望されるグループは、ボランティアセンターまでご連絡ください!

講座のお申し込みは、記載のない限り、ボランティアセンター(TEL: 06-6481-7733)まで

★ 講座への参加は、なるべく公共の交通機関をご利用になってお越してください。



ボランティア講座

「ボランティア活動のきっかけづくり」

ボランティア活動に興味のある方は是非ご参加下さい。ボランティアを受け入れる側から講師を招いて、地域との関わりや実状などをお話していただきます。

【日 時】平成25年 **2月21日(木)** 13:30~15:00

【場 所】中央支所 2階コミュニティホール(尼崎市開明町2-1-1)

【講 師】兵庫県立尼崎病院看護部次長/ほがらか苑施設長/サポートセンターまつば職員

【対 象】ボランティア活動に興味のある方

【参加費】無 料 【定 員】40名

【問合せ&申込先】尼崎市社会福祉協議会 中央支部まで TEL: 06-6413-5372



ボランティア育成講座

地域の防災・地域の役割について 災害にまけない地域とは

いつおこるかわからない災害に対し、家族で何を心がけておくのか。地域でなにかから取り組めばいいのか。東日本大震災の被災地でボランティアコーディネーターとして活動した梅田氏の経験と報告をもとに、家族・地域のありかたを学びます。

【日 時】平成25年 **2月20日(水)** 13:30~15:30 (開場13:00)

【場 所】小田支所 3階コミュニティホール(尼崎市長洲中通1-6-10) *車でのご来場はご遠慮下さい。

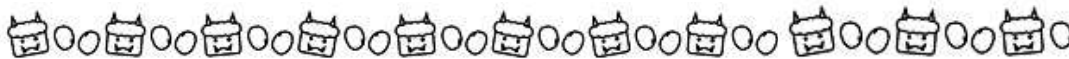
【講 師】大阪ボランティア協会 梅田 純平 氏

【定 員】50名(直接会場にて先着順で受付)

【参加費】無 料

【問合せ】尼崎市社会福祉協議会 小田支部まで TEL: 06-6488-5443

非常口



ボランティア養成講座

点訳入門講座

視覚障がい者の方へ活字情報の伝達手段である点字への訳し方について学ぶ入門の講座です。(事前申し込み要)

【日 時】平成25年 **3月4日~25日** 10:00~12:00 毎週月曜日 全4回

【場 所】立花公民館(尼崎市塚口町3-39-7)

【対 象】市内在住・在勤・在学の方で、講座修了後グループに加入し活動が可能なる方

【定 員】先着10名

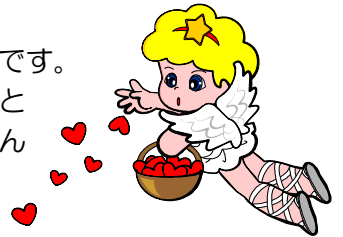
【申込み】平成25年2月4日(月)より受付開始

【受講料】無 料(※テキスト代630円が必要となります)



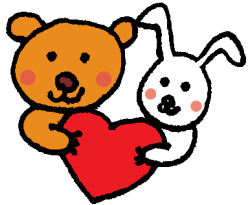
コーナー ひといごと

おっちょこちょいな性格上、キョロキョロするのがスキです。町の風景や行き交う人々を車の助手席などから眺めているととても楽しく、何時間でもOK！仕事ではバイクなのでそんなにキョロキョロできませんが、一瞬を逃さない技は自分でもスゴイと思っています。



訪問に出かけたある日、信号待ちをしていた視力障がいの男性に目が留まり、ドキッとしました。と言うのも、走りながら、ふと、「お元気でいらっしゃるかしら・・・」と、ところをよぎった方だったので、お姿が目飛び込んできたときの安堵と驚きと言ったら、皆さんも想像がつくかと思います。思いがけない偶然や奇跡的な出会いってありますよね！

戦前の歌ですが、♪とんとんとんからりと隣組♪と言った歌があります。歌詞に回覧板のやり取りや災害時の助け合いなど、隣近所のお付き合いの様子が歌われています。まさに社会福祉協議会の主題歌のようです。全てがそうではないと思いますが、隣同士で繋がっていた関係が、今や個人の時間を大切に趣味やサークル・市民活動などへ参加し、近隣よりも外に向けての時間を大切にされる時代になっているようです。地域社会ではない別の社会との繋がりを求めている行動ではないでしょうか。世界的に広がっているフェイスブックの創設者は、「人間は誰かと繋がっていたい動物である」と説いています。



先日、何気なくBS TVで昔の映画を見ていたら、観光地の名所が幾つもスクリーンの背景に出てきたので、映像を通じて旅行をしているようでした。便利な世の中になり時間の速度が違う今、昔よりも短時間で観光地へ向かえますが、映画って夢を与えてくれる娯楽だったのだと思いました。

時代の流れに沿って、どう社会と繋がり関わりを持つか改めて考えるときに来ているように感じました。(M.T.)

図書紹介

〔ボランティアセンターに置いてある図書の紹介です。〕

☆ 月刊福祉2月号 ☆

今月の特集は、「将来につながる福祉人材確保と育成」です。☆地域の福祉ニーズに対応し、きめ細かい福祉サービスを提供していくためには、それを担う質の高い人材の確保が必要ですが、福祉・介護人材の需給状況については、養成校の定員割れが生じるなど、担い手の確保が大きな課題となっているのが現状です。なぜ、福祉人材が不足しているのか。退職理由や処遇、将来展望など課題もあわせて、福祉・介護人材の確保・定着に向けた取り組みを考察するとともに、福祉職場における離職率の改善、福祉人材のキャリア形成に向けての取り組み、研修を通じた人材育成の取り組みなどを考えます。

☆ Volo(ウォロ)1月号 ☆

今月の特集は、「言わずに死ねるか！」です。☆真偽のほどは定かでないが、一休和尚はこう詠んだとか・・・。「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」。警句は正月にこそふさわしい。先行き不安な今の世を、大先達は どう見るだろうか。「これだけは・・・」という言の葉を、無理を承知でうかがいました。

使用済み切手の提供 ありがとうございました

☆佐伯 義信 ☆野山 恭一 ☆大堀 晴子 ☆上田 純子 (順不同・敬称略)
☆シャンティかんだ ☆風吹岩倶楽部 ☆点訳つくしんぼ ☆松ヶ下町会
☆若葉年輪会女性部 ☆ハンドル ☆夢・ゆめ仲間 ☆関西熱化学(株)
☆シニアケアプランセンタ ☆淡海プロデュース ☆BASF ジャパン(株)
☆サンシビック尼崎 ☆すこやかプラザ



※ いただいた使用済み切手は、本会登録ボランティアが整理した後、日本キリスト教海外医療協力会へ送付され、海外医療に役立てられています。

～切手整理～

登録ボランティア、老人福祉センター和楽園「スマイルクラブ」の方々に切手整理をしていただきました。